令和５年度

自己評価報告書

評価対象期間　令和５年度

（令和５年４月１日～令和６年３月31日）

学校法人タイケン科学学園

日本ウェルネスＡＩ・ＩＴ・保育専門学校

令和６年６月１日作成

・自己評価の実施方法

学校長の指示のもと、法人本部長、事務局長、学科長が評価表を作成し、各項目について、点検、評価を行った。各項目について、3 段階（優れている、適切、改善が必要）で評価し、課題や今後の改善方策を検討した。

・自己評価の項目

自己評価は、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて、以下の 10 項目について実施した。

目次

1　教育理念（理念、目的、育成人材像）

2　学校運営（運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システム、情報システム）

3　教育活動（目標の設定・教育方法・評価等、成績評価・単位認定等、資格、卒業生の社会的評価）

4　学修成果（就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価）

5　学生支援（就職等進路、学外実習等、防災・安全 n 管理）

6　　教育環境（施設・設備等、予算、収支計画書、監査、財務情報の公開）

7　　学生の募集と受け入れ（学生募集活動、入学選考、学納金）

8　　財務（財務基盤、予算、収支計画書、監査、財務情報の公開）

9　　法令等の遵守（関係法令・設置基準等の遵守、個人情報の保護、学校評価、教育情報の公開）

１０　社会貢献・地域貢献（社会貢献・地域貢献・ボランティア活動）

大項目	評価項目	自己評価 優れている　3 適切　2 改善が必要　1	自己評価項目総括	特記事項
1 教育理念・目的・育成人材像	理念・目的・人材像は定められているか	3	学校法人タイケン学園グループでは、3 つの建学の精神（1.物事を科学する人材育成、2.質実剛健な人材の養成、3.ブルーバルな人材の養成）を掲げ、グローバルな感性、現代社会に勝ち抜くバランス力、政策力を持つ人材の育成を目指している。このミッションのもと、当学園では、保育士・ビジネスに関する知識並びに技術を修得するための専門教育を行い関連業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。	専門教育を行うだけではなく、教育目標である次の 5 つの力を備える育成も大切にしている。 1.思いやりの心 2.感謝の気持ち 3.謙虚さ 4.チーム・組織内における協調性 5.主体的な行動力
	特色ある職業教育活動に取り組んでいるか	3		
	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3		
	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒、保護者等に周知されているか	3		
	教育目標・育成人材像は専門分野に関連する業界のニーズに適合しているか	3		
2 学校運営	目的に沿った運営方針が策定されているか	3	タイケン学園グループ本部の方針に沿って学校運営の事業計画、人事・給与制度、財務管理、コンプライアンス体制が確立されている。 情報システム化については学校全体でシステム化が進められている。	教務室にいながら全ての教室の状況をモニターで確認することができ、学園全体でのテレビ会議もできるようにしている。
	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3		
	運営組織や意思決定権は、規則等において明確化され、且つ有効に機能しているか	3		
	人事、給与に関する制度は整備されているか	3		
	教務・財務等の意思決定システムが整備されているか	3		
	業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3		
	情報システム化による業務の効率化がはか	3		

	られているか			
3 教育活動	理念の沿った教育課程の構成、実施方針が策定されているか	3	教育課程の構成や実施方針は、ニーズに合わせて適切に策定され、必要に応じて改善を行っている。	希望に沿った形でキャリアを展開し続けられるよう、教育課程を編成している。
	修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間は 明確にされているか	3	学則に教育課程、単位及び授業時間数を明記し、シラバスで詳細明記している。	学校関係者評価や教育課程編成委員会等を通じて、最新のニーズを把握し、カリキュラムの確認と見直しを常に行っている。
	学科等のカリキュラムは体型的に構成されているか	3	年次ごとに、各学年の到達目標を定め、それに応じたカリキュラムを適切に設定している。	
	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	学園グループから社会性を身につけるように徹底されている。社会性がみにつくように、日頃から教育している。	就職研究やキャリアデザイン等のカリキュラムで、各業界で必要なスキルの実践的教育を１年次より実施している。
	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	全科目を対象に、年に一度各講師の授業内容について評価を行っている。	
	成績評価、単位認定等の基準は明確になっているか	3	成績評価と単位認定等の基準は学生ガイドブックに明記し、職員間及び学生・保護者に周知徹底している。	前･後期の成績通知書にも基準等詳細を記載し手保護者にも送付している。
	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	各学科の最終目標のである資格取得の合格に向け、カリキュラム作りを行っており、各学年に周知している。	通常授業内に対策授業を実施している。
	資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	各科目のスペシャリストであり、本校の教育目標を達成するべく要件を満たしている教員を採用している。	こども保育学科では、大学及び保育園の園長等を招き、より実践的な教育プログラムの提供に力をいれている

	教員の資質向上や指導力育成に向けた取り組みがなされているか	3	学園本部主催の合同研修を年に数回実施し、教員の資質向上や指導力養成に取り組んでいる。大学のＦＤ研修にも参加し、外部の研修等を利用して個別のスキルアップをしている。	専門分野の学会等が主催する勉強会に参加し、情報交換を行っている。
4 学修成果	就職率の向上が図られているか	3	1年次から各学科で就職するための意識付けを行っている。1年次後半から就職ガイダンスを実施。求人情報は常時閲覧できるようしている。また、個別相談は随時行っている。	こども保育学科は100%の就職率である。
	資格取得率の向上が図られているか	3	資格取得を意識した授業カリキュラムを編成し、授業外に対策講座を設けている。	
	退学率低減が図られているか	2	担任による個人面談等継続的に行い、職員間での情報共有など、個々の問題点を早期に支援する体制作りに努めている。	長期欠席者には家庭訪問を実施し、退学を未然に防ぐように努める。
	卒業生、在校生の社会的な活躍・評価を把握しているか	3	卒業時に進路報告を義務付け、就職先を把握している。就職先が変わった場合にも必ず連絡を義務付けている。また、卒業生に来校してもらい、在校生に対し、現在の仕事、活躍等の話をしてもらう機会を設けている。	
5 学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	担任と就職スタッフとの緊密は連携により、学生一人ひとりに会った就職指導体制を整備している。	就職ガイダンスでは自分を知ることから始め、求人票の見方、内容説明などの講義後、説明会に参加している。
	学生相談に関する体制は整備されているか	3	学生相談室を設け、担任による個別相談を適宜実施している。また週1回のミーティングで在校生について、校長・教職員全員で共有し、サポート体制がとれるようにしている。	留学生は、外国人スタッフにより対応している。

	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	経済面に不安のある場合は、入学前に個別相談を行っている。入学後においては、本人および保護者と学費サポート体制について一緒に話し合い、個別の状況に応じた支援を行っている。	各種学費サポートプランを用意している。 ・分割払い ・修学支援新制度 ・日本学生支援機構等の奨学金等の支援がある。
	学生の健康管理を担う体制は整備されているか	3	年一回健康診断を実施し、学生の健康管理に努めている。また、持病等を持つ学生に対しては、担任による個別面談を通して、健康状態の把握に努めている。	保健室は教務室･事務室のフロアーにあり、いつでも状態把握できるようになっている。
	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	タイケン学園グループの日本ウェルネススポーツ専門学校の部活動に参加することができる。また、チアダンス、ブラスバンド部があり、日本ウェルネス高等学校の野球応援に参加している。学生が自由に参加できる仕組みにし、支援体制を整備している。	学園グループ全体の課外活動としては以下のものを開催している。 ・タイケン学園スポーツ祭（10 月） ・タイケンフェスティバル（11 月）
	学生寮など、学生の生活環境への支援は整備されているか	3	一人暮らしを希望する学生には提携している近隣の学生会館や学生寮、その他学生マンションも紹介し、学生の生活環境支援に努めている。	
	保護者との連携体制は適切に行われているか	3	年に 2 回の成績表を保護者に送付している。また、出席状況、成績、体調など問題が発生した際、すぐに保護者にも連絡を取り、状況の把握と共有に努めている。休学や退学などの申し出があった際には、3 者面談を基本としている。	担任による定期的な家庭への連絡を実施している。

	卒業生への支援体制は整備されているか	3	卒業後も気軽に来校できるようにし、仕事の相談等に対応している。また、学校内の求人票を閲覧できるようにしている。 卒業後も生涯に渡りサポートしている。	再就職のサポートも実施している。
6 教育環境	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	厚生労働省の設置基準に則り、施設を適正に整備している。	こども保育学科では、保育実習室、造形室、調理実習室、ピアノ室、パソコン室があり、よりよい学習環境、設備を整えている。
	学外の実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3	学科において、学外での保育園・児童養護施設などの実習を受講するよう教育体制として整えている。また、タイケン福祉会と連携してインターシップにも取り組みをしている。	英語や楽器などが得意な学生は、タイケン福祉会の保育園に行き、コミュニケーションを図っている。
	防災に対する体制は整備されているか	3	年 2 回の避難訓練を実施し、避難経路の確認などを行っている。	「学生ガイドブック」に、校舎避難経路図を収載している。 事故発生時の対応マニュアル等を整備している。各教室、玄関、駐車場には防犯カメラが設置してあり、24 時間録画している。
7 学生の受け入れ募集	学生募集活動は、適切かつ効果的に行われているか	2	当校ホームページや、媒体経由での資料請求者にパンフレット・募集要項を送付している。また、高校の進路指導室の訪問、進路ガイダンスへの参加、体験入学や学校説明会を実施している。	
	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3	入学選考方法は募集要項に明記し、明記した通りに適切に実施している。	
	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3	学納金は募集要項に掲載しているが、毎年見直しすべき点はないか検討している。	学則に規定している学費等以外の諸経費については、学校説明会

				で説明している。他校よりも低めに設定し、学生負担を軽減している。
8 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	法人としての財務基盤は安定しており、全く問題はない。	
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	年度予算、収支計画は、目的目標に照らして有効かつ妥当なものとなっている。	
	財務について会計監査が適正に行われているか	3	タイケン学園本部により、会計監査は適正に行われている。	
	財務情報公開の体制準備はできているか	3	資料の作成は適正に行われており、ホームページで情報公開をしている。	
9 法令等の遵守	法令や専修学校設置基準等遵守し、適正な運営がなされているか	3	法令や専修学校設置基準は遵守され、適正な運営がなされている。	
	個人情報に関する対策を実施しているか	3	個人情報保護に関する対策は適正に実施している。タイケン学園グループ全体としても、個人情報保護についての職員への教育が徹底されている。	
	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	毎年自己点検、自己評価を実施し、問題点が出てきた際には改善に努めている。	
	自己評価結果を公開しているか	3	自己評価の評価結果はホームページで情報公開している。	

	学校関係者評価結果の実施体制を整備し評価を行っているか	3	自己評価結果に基づき、年 2 回開催している。	
	学校関係者評価結果を公開しているか	3	ホームページで情報公開している。	
	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	2	ホームページで情報公開している。	
10 社会貢献・地域貢献	学校教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2	職場体験の受け入れ、職業講話実施（高校生対象）。校外活動として、保育園に出向きパネルシアター等を行っている。	
	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	ボランティア活動の募集が合った際には、掲示版等でも周知し、学生自らの意思で活動に取り組むようにしている。	
	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	地域からの要望等があった場合には、都度実施していく。2021 年度から東京都の長期高度人材育成コースの保育士養成科を受託している。	